

薬剤説明書

ストレート剤

- 絶対守って頂きたいのは2回に分けて塗るということと必ず30分置くことです。30分置かなければ効果はできません。なので30分放置しても大丈夫な薬の強さを選定します。

1回目の薬が塗り終わったらタイムを入れます。

10分たったら2回目のお薬を塗り始めます。タイムはそのまま入れ続け30分経ったら流します。

- 薬剤の選び方は10ポイントから引いた数字で薬剤を決めていきます。
- 左の数字 = S1 (強い薬) 右の数字 = S2 (弱い薬)
- 使用するお薬の種類は以下の5種類のみです。

8～10ポイント	S1のみ
4～8ポイント	(3:1)
2～6ポイント	(1:1)
1～3ポイント	(1:3)
0～2ポイント	コアフュージョンのみ

カラー履歴	ストレート (デジパ) 履歴	毛質
10トーン以下のカラー -1	履歴なし 0	硬い/太い/撥水性 0
10トーン以上のカラー -3	ストレート (デジパ) 有り タンパク変性が見られる -3	普通 -1
ブリーチ -5	ストレート (デジパ) 有り タンパク変性が強く見られる -5	柔らかい/細い/吸水性 軟化が見られる -3

【新規の際】

1回目で薬の反応を確認→2回目で適正の薬を選択・・・この考え方でミスを防ぎます。

初回はカルテがないので傷めないことが大前提、2つの薬のどちらかで悩んだら弱めを選択してください。

傷ませたら元も子もありません。基本的に1回目は弱めで様子を見てください。

軟化と還元の違いをよく理解してください。理解しないのに薬剤を使わないこと！

【2回目以降のお客様】

既存のお客様にも必ず2回塗りをしてください。(ホームページにもそう記載しています。)

2回塗りでムラ塗りをなくし浸透を均一にできます。

既存の場合は薬の判断ができていれば1回目と2回目の薬は同じで平気です。

注意ポイント

上記の5種類の配合しか使用しないようにしてください。

4：1、2：1、1：2、S2のみ、という調合のお薬を使う方がいます。こういう配合はしないでください。

例えば

3：1か1：1で悩んでいる → じゃあ間の2：1を使おう

となると思うのですがこれは誤りです、「悩んだら弱めを使う」とお伝えしていますし使用のお薬も5種類のみと伝えています、なのでこの場合は1：1を使うべきなのです。

トリートメント剤

*使用薬

コアフュージョンをカップに入れて作ってください。

トリートメントの放置時間は原則15分です。

カラー剤

・リタッチの場合

まずは中間、毛先にコアフュージョンをつけてそれから根元染めしてください

・フルカラーの場合

根本はカラー剤のみ

毛先(カラー剤+コアフュージョンを10%で調合)

中間がある場合、またはリフトを狙う場合は5%でOK

例)

根元、中間、毛先と髪のパダメージが異なっている場合

根元→カラー剤のみ

根元→カラー剤+コアフュージョン5%

根元→カラー剤+コアフュージョン10%

カラーの放置時間は原則15分ですが、お客様の要望に合わせて現場判断でお願いいたします。

コアフュージョンは最大でも10%までです。5%か10%かはカラー剤によっても異なりますのでモデル練習をして仕上がりの差を確認してから使うようにしてください。